平成 29 年度　山形県立博物館　特別展

森の妖精

―不思議な生き物、粘菌（ねんきん）―

ホソエノヌカホコリ

ルリホコリ

写真資料提供　伊沢 正名

2017 6/10 sat - 8/27 sun

○展示解説会

各回いずれも１３時～１３時半

６月１０日（土）

７月　８日（土）

８月　５日（土）

８月２６日（土）

○記念講演会　　各回いずれも１４時～１５時半

第１回　６月１０日（土）「南方熊楠と昭和天皇－ふたりを結んだ粘菌研究－」

講師：萩原　博光 氏　（国立科学博物館名誉研究員）

第２回　７月　８日（土）「粘菌が拓く、新しいロボット技術の世界」

講師：石黒　章夫 氏　（東北大学電気通信研究所教授）

第３回　８月　５日（土）「変形菌と親しむ」

講師：川上　新一 氏　（和歌山県立自然博物館学芸員）

開館時間　9 時～ 16 時半（16 時まで入館してください）　　休 館 日　月曜日　（ただし 7 月 17 日（月・祝）開館、18 日（火）休館）

入 館 料　大人 300 円（20 名以上の団体 150 円）/ 学生 150 円（20 名以上の団体 70 円）※高校生以下無料、障がい者の方と付添の方は無料

主　　催　山形県立博物館

協力機関　国立科学博物館　　山形県立自然博物園　　（公財）南方熊楠記念館　　南方熊楠顕彰館

山形県立博物館

〒990-0826　山形市霞城町１－８　TEL 023-645-1111　FAX 023-645-1112

URL　http://www.yamagata - museum.jp/

開催にあたって

粘菌は「変形菌」とも呼ばれる微生物で、その多くの種類の子実体（小さなキノコのようなもの）は大きさ数ミリ程度で、倒木や枯れ葉などにみられます。

今までその多様な色・形や生活史が人々を魅了してきました。代表的な粘菌学者、南方熊楠もその一人で、今年は生誕 150 周年にあたります。現代では、熊楠から受け継がれた博物学的研究はもちろん、工学的分野における応用研究も盛んに行われています。

本展では、粘菌の実物標本やジオラマなどを通して、粘菌の不思議でユニークな形態や生活史、そして生態に迫ります。さらに熊楠の研究や粘菌をモデルとした応用研究などについても紹介します。

本展をご覧いただき、この小さな粘菌の自然環境での役割を考えつつ、山形の自然の素晴らしさや大切さに改めて目を向けていただけましたら幸いです。

最後になりますが、本展を開催するにあたり、ご協力を賜りました関係機関・各位に厚くお礼申し上げます。

山形県立博物館

展示構成と主な展示資料

第一部　森の妖精 ―粘菌とは―

（1）粘菌の生活史

（2）粘菌の仲間たち

（3）粘菌の生態やトピック

展示資料：実物標本、ジオラマ、映像など

第二部　粘菌の研究 ―南方熊楠から現代へ―

（1）南方熊楠の粘菌研究

（2）粘菌を用いた応用研究

展示資料：熊楠の手紙、標本

献上に使用したキャラメル箱など

第三部　妖精をみつけて！

―粘菌ワールド―

（1）書物などに描かれる粘菌

（2）粘菌を探す体験コーナー

（3）顕微鏡観察コーナー

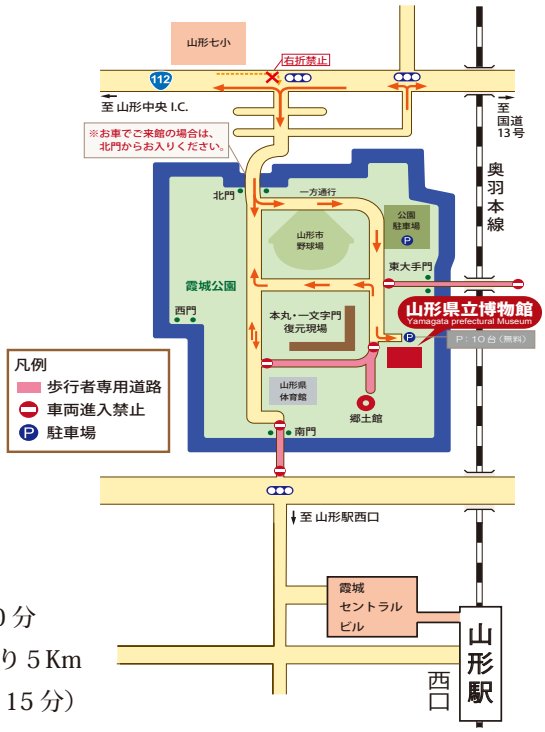
展示資料：実物標本、書物など

背景写真　黄色い変形菌（種不明）

『ジャクソンビルの南方熊楠胸像写真』

『粘菌献上　キャラメル箱』

写真資料提供：南方熊楠顕彰館 (和歌山県田辺市)



森の妖精
ホリーくんとルリちゃんが、
みなさんをご案内します！

交通案内

徒歩　JR 山形駅西口より 10 分

車　山形道山形蔵王 IC より 5 Km
（約 15 分）

東北中央道山形中央 IC より 3 Km
（約 10 分）

※霞城公園北門からお入り下さい。